

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-40

部門名： 1 カリキュラム・マネジメント実践部門	エントリー名： 一関市立大原中学校 小山淳 平成 30 年度第 1 回次世代リーダー育成研修 (平成 30 年度 奥州市立江刺南中学校勤務)
活動名： <h2 style="text-align: center;">主体的な家庭学習の推進</h2> <p style="text-align: center;">～ 授業と家庭学習をつなぐ時間の保障 ～</p>	
解決すべき課題： 中央研修での講義を受け、家庭学習の重要性を再認識した。しかし、私の接している生徒の多くにとって家庭学習は、「させられている学習」であり、自分の学びを振り返ったり、深めたりするような「主体的な学び」にはなっていない。また、学校では家庭学習に向けて、生徒が自身の学びを振り返り、計画する時間がない。時間を保障し、取組をフォローアップすることで、生徒の学びの主体性を高め、確かな学力につなげたい。	
目標・方針： <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業で学んだことを振り返り、家庭学習の計画を立てる時間（ひまわりタイム）の設定 (2) 授業内容を振り返り、家庭学習の計画・振り返りを記述するシート（ひまわりシート）の活用 (3) 生徒の取組に対して教職員によるフォローアップ 	
活動内容： <p>I 奥州市立江刺南中学校 全校生徒（今年度 4 年目の取組）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 6 校時終了後の 5 分間を「ひまわりタイム」とし、授業で学んだことを振り返り、家庭学習の計画を立てる時間とした。（現在は 10 分間で実施している） (2) ひまわりシートに授業で学んだことを振り返り、家庭学習の計画、振り返りを記述させた。 (3) 各教科担任はひまわりタイムの時間に各教室を巡回し、助言を行った。また、学級担任はひまわりシートの記述をもとに生徒へ助言・指導を行った。 <p>II 一関市立大原中学校 1 学年</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 帰りの HR の前に、授業で学んだことを振り返り、家庭学習の計画を立てる時間を設定した。 (2) ひまわりシートに授業で学んだことを振り返り、家庭学習の計画、振り返りを記述させた。 (3) 学級担任は、ひまわりシートの記述等をもとに、生徒へ助言・指導を行った。 	
活動の成果： <ul style="list-style-type: none"> ○時間を保障し、フォローアップしたことで、生徒はじっくりと家庭学習の計画を立てることができ、取組の良さを実感する声が上がった。 ○学級担任や教科担任が必要に応じて、学習方法を指導したり、見本となる取組を紹介したりすることで、生徒の家庭学習の内容は変容を遂げた。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の復習や小テストに向けた学習など授業とつながる学習内容となった。 ・目的があいまいで、出された課題をこなすために行い、「～～をした」と振り返る（OUTPUT 評価）学習から、学習や振り返りの積み重ねの中で自分の課題を見出して取り組み、「～～ができるようになった」「～～が間違えやすいので気をつけたい」といった学習成果を振り返る（OUTCUM 評価）学習が増えた。 	
アピールポイント（アイデアや工夫）： <ul style="list-style-type: none"> ○取り組む時間と取組のフォローアップを保障することで生徒の家庭学習への主体性は高まる。家庭学習を通して「わかった」「できた」という実感は学習への意欲を高め、学びの好循環が生まれる。 ○自分の学びを振り返り、課題に取り組むことで、生徒は「学び方」を身につける。 ○取組を学年・全校に広げることで、全教員で全生徒の学びを確認し、関わっていくことができる。 ○取組を継続・進化させてきた前任校の実践と、その成果をもとに取組を始め、生徒が変容を遂げている現任校の実践は、他校での実践にも生かすことが可能となる。 	

奥州市立江刺南中学校

ひまわりタイム（=ひとりの学習とまわりの仲間との学習をつなぐ時間）の流れ

6 校時が終わったら・・・

- (1) 6 校時後、自分の席で 1 日に使った教科書やワーク等を並べ、(積み上げ) しましょう。
- (2) 教科書類を見て、1 時間目から授業を振り返り、その日に学習したことを確認しましょう。
- (3) ひまわりシートを記入しながら、学習の理解度を振り返りましょう。
- (4) その日に家庭学習で何を行うかを決め、ひまわりシートに記入しましょう。
* その日に授業を行った先生が教室に顔を出します。家庭学習のやり方等、相談したいことがある人は静かに手を挙げて質問しましょう。
- (5) 記入後、係りの生徒（隣の席の生徒）にチェックしてもらいましょう。
- (6) 帰宅後、計画通りちゃんと学習し、朝、登校したら家庭学習とひまわりシート（フアイル）を提出しましょう。
* 授業で習ったことを復習したいとき、何を使って学習すればいいかわからないときは、教科の先生が来たときに静かに手を挙げ、質問しましょう。

ある生徒へのインタビューより

Q 「ひまわりタイムを設定してよかったと思うことは何ですか？」
 A 「(以前までは) 帰ってから自学何よかな・・・と考えてからはじめてたんですけど、帰ってからすぐに自学に取り組みることができるようになったので、学習意欲が激増しました。」
 Q 「なるほど、他に、何かありますか？」
 A 「えーと、先生たちが帰ってくるので、授業で聞きたかったことやわからなかったことなどを、その日のうちに聞いて解決できるのがいいです。」

ひまわりタイムの進化

ひまわりシートを導入。生徒はシートへ記入しながら授業や家庭学習を振り返れるようになり、それをもとに教師が助言できるようになった。
【2018 年度】

ひまわりタイムを 10 分間に延長し、それに合わせて、生活時程を変更。
生徒・教師がひまわりタイムにじっくりと取り組めるようになった。
【2019 年度】

2019 年度
・ひまわりタイム 10 分間に延長

ひまわりタイムへの生徒の声

何を学習したか振り返りやすい。

宿題をやったか、チェックできるようになった。

5 分間では、計画まで立てることができない。行事等で時間が短くなるなど困る。

(家庭学習) 家で何をやるのか迷わずできる。

一関市立大原中学校

2018 年度
・ひまわりシートの導入
・時間設定の変更

2017 年度
・取り組み方法の修正

ひまわりシートへの記述
・家庭学習内容の変容

2016 年度
・ひまわりタイム開始

1 日の授業で学んだことを振り返り、家庭学習の計画を立てる。

具体的な振り返りができるようになり、学習内容も目的がはっきりとしたものに変化

ひまわりシート見本

家庭学習後、振り返りを記述する。

「一勉」とあいまいであった計画が内容まで書けるようになり、家庭学習ノートの内容が充実するようになった。また、振り返りでは「しっかりできた」としか書けなかったものが、何を復習できたか、書けるように変化した。

OutPut から OutCum へ変化
 (～した) → (～できるようになった)

学級担任による指導

- ガイダンスの実施
- 学級活動の時間を利用し取組方法の指導、見本となるノートの提示
- 家庭学習ノートに貼られたひまわりシートを確認し、随時指導
- 定期テスト期間に家庭学習の計画・学習内容の強化期間を実施

始めは、ノルマをこなして行ったことを振り返る（「ていねいにかけた」等）家庭学習が中心だったが、ひまわりシートへの記入を継続することで、自分の間違いやすい問題など課題に合わせた学習へと変化し、振り返りも学習成果を実感するもの（「自分が前日に間違えた」約分ができた」等）へと変化した。